

緊急院内集会！
東京医大入試女性差別問題

2018年8月10日 午後5時～

参議院議員会館 101会議室

私たちは女性差別に

怒っている



下駄を脱がせる



東京医科大が入試の得点を操作し、女子受験者などの合格者数を抑えていたことが報道されました。この「事件」は、日本社会がとてつもない女性差別社会であり、男性を優遇する（下駄を履かす！）社会であることを、白日のもとにさらしました。教育の機会均等を定めた憲法違反でもあるし、教育基本法違反でもあるという犯罪的な行為です。

私たちは、ここで、怒らなくては。ここで、この男性優遇の社会を変えなければ。これから社会に出ようとする後輩たちのためにも。今、この社会で呻吟する人たちのためにも。

「女性は辞めるから、少なく採用する」こんな「必要悪」が横行する社会にはもう我慢できない。

妊娠や出産で仕事を辞めざるを得ない社会が変わるべき！

長時間の過重労働を許さない仕組みが必要です！

こうした思いで、緊急院内集会を開催することとしました。

この事件に怒るたくさんの皆様のご参加をお待ちしております。

女性たちのリレートーク、発言予定者は以下のとおりです。

北原みのりさん（作家）、打越さく良さん（弁護士）、千田有紀さん（武蔵大学教授）、林美子さん（「メディアで働く女性ネットワーク」代表世話人）ほか

超党派国会議員の皆さんも発言されます。文部科学省など省庁の担当者の方も呼びびして、私たちの率直な思いを聞いていただきたいと思います。

女性差別のない社会に向けた法制度整備を強く求めていきましょう。

(4) 属性による得点調整
平成30年度一般入試においては、二次試験の小論文において、属性による得点調整が行われた。その手法は、まず、小論文の点数（満点100点）に、全員0.8の係数をかけ（満点は80点になる）、そこに、受験生の属性に従い、次の加減を行うというものであった。

① 現役男子	20点
② 1浪男子	20点
③ 2浪男子	10点
④ 3浪男子	0点
⑤ 4浪男子	0点
⑥ 女子	0点

これにより、4浪男子及び女子（現役・浪人問わず）は100点満点を取っても80点の得点しか得られなかったこととなる。

* 委員会では、東京医科大から提供された資料に基づいてこの表を作成したが、最終資料が最終版のものかどうかは確認できていない。

22



主催：東京医科大学入試女性差別に抗議する緊急院内集会実行委員会

Facebook ページ <https://goo.gl/HN7MsN>

連絡先：kuramoto@projctjapanwomen.net